

TOP MESSAGE

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社は2023年9月30日をもって、第78期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業年度の第2四半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復が続いております。その一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念、海外景気の下振れリスク等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「T P S (トータル・パッケージング・ソリューション) 提案」により顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、各主要製品での数量減はあったものの、原燃料価格の高騰に対処するための販売価格修正の効果に加え、衛生材料向けおよび自動車向けキャストフィルムの拡販、パルプモールド製食品用容器の拡販等により、108億11百万円(前年同期比0.7%増)と増収となりました。また、営業利益は5億66百万円(前年同期比20.3%減)、経常利益は7億17百万円(前年同期比19.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8百万円(前年同期比3.5%減)となりました。減益の主な要因は、販売数量減少と製造固定費増加等によるものであります。また、2023年3月に発生した当社八戸工場火災にかかる受取損害保険金として1億72百万円の特別利益を計上しております。さらに、訴訟終結による役員退職慰労金の一部不支給に伴う役員退職慰労金返還額57百万円を特別利益に計上しております。

なお、配当金額につきましては、中間配当金額は1株につき32円、2024年3月期の期末配当につきましても同32円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

山口 博章

連結業績ハイライト (2024年3月期 第2四半期)

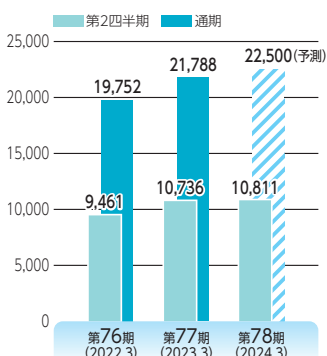
売上高	10,811	百万円	(前年同期比 0.7%増)
営業利益	566	百万円	(前年同期比 20.3%減)
経常利益	717	百万円	(前年同期比 19.5%減)
四半期純利益	608	百万円	(前年同期比 3.5%減)

第2四半期決算のポイント

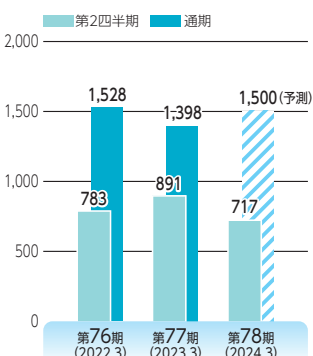
売上高につきましては、原燃料価格の高騰に対処するための販売価格修正の効果に加え、衛生材料向けおよび自動車向けキャストフィルムの拡販、パルプモールド製食品容器の拡販等により増収となりました。

利益につきましては、販売価格修正の効果はあったものの、各製品の販売数量の減少と製造固定費の増加等により減益となりました。

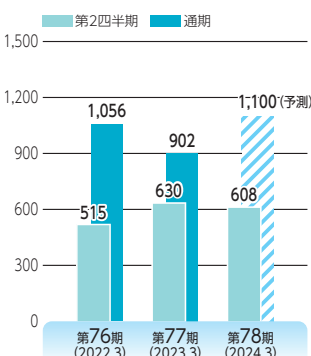
売上高 (百万円)



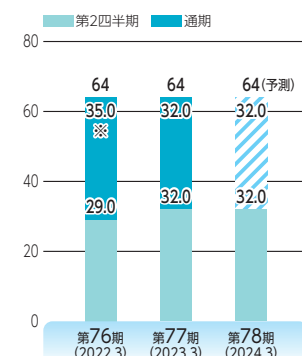
経常利益 (百万円)



四半期純利益 (百万円)



1株当たり配当金 (円)



※東証上場記念配当4円含む

緩衝機能材事業

売上高 **51** 億 **44** 百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、業務用鶏卵トレー、および青果物トレーが販売数量減となりましたが、食品用容器および鶏卵パックが堅調に推移したこと、および販売価格の修正により増収となり、パルプモールド部門の売上高は30億33百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

段ボール部門は、販売価格の修正も販売数量減となり、売上高は15億29百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

成型部門は、売上高は樹脂成型品と宙吊り式包装容器(ゆりかご)をあわせて5億82百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

その結果、当事業の売上高は51億44百万円(前年同期比5.5%増)となり、セグメント利益は5億1百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

包装機能材事業

売上高 **55** 億 **6** 百万円

営業の概況

フィルム部門は、食品容器用ポリスチレンフィルムは販売数量減となりましたが、販売価格の修正および衛生材料、自動車向けキャストフィルムの拡販により、売上高は22億10百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

重包装袋部門は、国内は、販売数量は減少しましたが、販売価格の修正により増収となりました。海外は、飼料向けおよび化学薬品向けの数量減により減収となり、重包装袋部門の売上高は32億95百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

その結果、当事業の売上高は55億6百万円(前年同期比3.1%減)となり、セグメント利益は4億42百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

TOPICS

【新型製函機EVOL導入】

段ボール事業部直方工場に、最新型製函機のEVOL機を導入しました。高品質・高精度および高生産性が本機の特徴であり、段ボール事業部のさらなる成長に繋がる大型の投資となりました。

今後もお客様のご要望に、高い品質とスピード感をもってお応えできるよう邁進してまいります。



【まつり八幡東2023にアルエコを出展】

2023年9月2日(土) ジ・アウトレット北九州にて開催された「まつり八幡東2023」に、当社のパルプモールド移動式リサイクル工場「アルエコ」を出展いたしました。

八幡東区の伝統や文化、企業について知る機会を子どもたちに提供する場として開催された当イベントは約54,000人の来場者で溢れました。

今後も積極的に地域の、そして当社の魅力を発信してまいります。



会社の概要 (2023年9月30日現在)

商号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設立	1947年2月3日
資本金	4億6,640万円
営業拠点	北海道／青森／茨城／埼玉／東京／大阪／福岡／大分／長崎／熊本／シンガポール／マレーシア
工場	青森、茨城、埼玉、福岡(小倉、鞍手、直方)、マレーシア
従業員数	354名(グループ588名)

連結子会社

CORE PAX(M)SDN. BHD.
ENCORE LAMI SDN. BHD.
柳沢製袋株式会社
株式会社アクシス

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL https://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	東京、福岡
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

特別口座・マイナンバーに関するご案内

◆単元未満株式(1~99株)をご所有の株主さまへ

単元未満株式は市場での売却ができないなどの制約がございます。当社では、このようなご不便を解消するため「買増請求制度」「買取請求制度」がご利用いただけます。お手続きにつきましては、当社株主名簿管理人の日本証券代行株式会社(0120-707-843)までご連絡ください。

「買増請求制度」：単元株式数(100株)に不足する株式数の買い増しを、当社に対して時価で請求できる制度です。なお、特別口座において買い増し請求により単元株とされましても、市場で売却するにはあらかじめ証券会社の口座に株式をお振り替えいただく必要がございます。

「買取請求制度」：単元未満株式をご所有の株主さまが、当社に対して時価で単元未満株式の買い取りを請求できる制度です。

◆株式等に関するマイナンバーのお届けについて

2016年1月から、各種行政手続においてマイナンバーの利用が開始されています。株式等の税務手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届けください。